第 41 回近畿高等学校新人卓球大会
兼 第 54 回全国高等学校選抜卓球大会
（近畿地区予選会）

実　施　要　項

主催　近畿各府県卓球協会

共催　近畿高等学校体育連盟

後援　京都府教育委員会

主管　近畿高等学校体育連盟卓球専門部
　　京都府高等学校体育連盟卓球専門部

１　期　　日

(1) 開会式　　令和８年 12 月 22 日（火）　　９時 30 分 ～
(2) 競　技　　令和８年 12 月 22 日（火）～ 24 日（木）　　３日間
(3) 閉会式　　令和８年 12 月 24 日（木）　　競技終了後

２　会　　場

島津アリーナ京都
〒603-8334　京都市北区大将軍鷹司町　　TEL　075-462-9192

３　競　技　種　目

(1) 男子学校対抗（団体戦）　(2) 男子ダブルス　(3) 男子シングルス
(4) 女子学校対抗（団体戦）　(5) 女子ダブルス　(6) 女子シングルス

４　競　技　日　程

12 月 22 日（火）	9 時 30 分 ～ 9 時 50 分	開会式	
	10 時 00 分 ～ 13 時 00 分	男女ダブルス	決勝まで
	13 時 00 分 ～ 16 時 30 分	男女学校対抗	1 回戦
12 月 23 日（水）	9 時 30 分 ～ 13 時 15 分	男女シングルス	決勝まで
	13 時 15 分 ～ 16 時 45 分	男女学校対抗	2・3 回戦
12 月 24 日（木）	9 時 30 分 ～ 13 時 30 分	男女学校対抗	決勝までと順位決定戦
	13 時 30 分 ～	閉会式	

５　競　技　規　定

(1) 現行の日本卓球ルールおよび以下の規定を適用する。
(2) 競技用ユニフォームは以下のとおりとする。
　(ア) (公財) 日本卓球協会公認マークのついたものとし、(公財) 日本卓球協会制定のゼッケンを背中につけること。(2015 年 9 月一部改訂の白地ユニフォーム禁止規定採用)
　(イ) 学校対抗・ダブルスはチーム・組で同じユニフォームを着用すること。また、明らかに異なった色のものを２着以上持参し、各種目とも準々決勝以降は対戦相手校・選手と同色のユニフォームを避けること。同色であった場合はトスにより一方のチーム・選手がユニフォームを変更すること。
(3) 監督は学校長が認める指導者とし、当該年度に (公財) 日本卓球協会に役職登録されたものであること。また、監督が外部指導者の場合は、損害・賠償責任保険 (スポーツ安全保険等) に必ず加入し、その証明書を添付した「外部指導者申請書」を大会参加申し込み時に提出すること。なお、監督は 2026 年度役職者章をつけること。
(4) 個人戦 (ダブルス・シングルス) のアドバイザーは次の条件で認める。
　(ア) アドバイザーは一つの試合について１名のみ認める。
　(イ) アドバイザーの資格は、大会申込時にエントリーされた当該校の監督・選手に限る。
　(ウ) アドバイザーは試合開始時に選手とともに入場する。試合途中にコートを離れてもよいが以後はそのコートに復帰できない。ただし、当該校で複数の選手が試合をしている場合は途中からでも入ることができる。
(5) ゲーム間のアドバイスやタイムアウトの時間は１分以内とする。なお、タイムアウト制は全種目準々決勝以降に (学校対抗は順位決定戦にも) 適用する。
(6) ラバーを張り替える際の接着剤の使用は指定された場所でのみ認める。
(7) 使用球は (公財) 日本卓球協会公認球（40 ㎜ プラスチックホワイト球) とし、VICTAS・ニッタク・タマス (R 球) からの選択とする。
(8) 使用台は (公財) 日本卓球協会公認のブルー台とする。

６　競　技　方　法

(1) 学校対抗、個人戦ともにシングルスは５ゲームマッチ、ダブルスは３ゲームマッチのトーナメント方式とする。

(2) 学校対抗の試合方法は次の通りとする。

(ア) 選手登録人数は４名以上８名以内とし、補欠は認めない。

(イ) 勝敗は４～６名による４シングルス１ダブルスの５試合３点先取で決定する。

(ウ) 試合順序は次の通りとする

順　序	1	2	3	4	5
種　目	D	S	S	S	S

S：シングルス
D：ダブルス

シングルスとダブルスは重複して出場できる。

ただし、１番ダブルスに出場した者は２番のシングルスに出場できない。

(エ) 外国籍選手は２名まで登録することができる。ただし、１試合につき２名以内のうち１名のみがシングルスまたはダブルスいずれか１回だけ出場できる。

(オ) ２コートを同時使用する場合もある。

(3) 本大会は第 54 回全国高等学校選抜卓球大会の近畿ブロック予選を兼ねているため、学校対抗の３・４位決定戦および５～８位決定戦も行う。５～８位決定戦は本戦のトーナメントに従って試合を行う。

(4) 審判について

(ア) 学校対抗は相互審判とする。ただし、準々決勝以降（順位決定戦含む）は公認審判員が行う。

(イ) 個人戦については敗者審判とする。ただし、準々決勝以降は公認審判員が行う。
また、各日の個人戦の第１試合については地元の高校生審判員が行う。

７　参　加　資　格

(1) 選手は学校教育法第１条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。

(2) 選手は各府県高等学校体育連盟に加盟している高等学校及び各府県高等学校体育連盟が特に認めた 学校の生徒で、当該競技要項により大会参加資格を得た者に限る。

(3) 選手は当該年度に（公財）日本卓球協会に登録された者であること。

(4) 年齢制限について

(ア) 選手は平成 20 年４月２日以降に生まれた２年生以下の者であること。ただし、同一学年での出場は１回限りとする。

(イ) 特例として、中国残留日本人孤児及びその子女については、(ア) の年令制限を適用しない。

(5) チームを編成する場合、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。

(6) 統廃合の対象になる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

(7) 転校後６ヶ月未満の者の参加は認めない（外国人留学生もこれに準ずる)。
ただし、学校再配置による転入学生徒及び一家転住などのやむを得ない場合は、各府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。

(8) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。

(9) 参加資格の特例

(ア) 上記の (1)、(2) に定める生徒以外で、当該競技要項による大会参加資格を満たすと判断され各府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

(イ) 上記 (4) アのただし書きについて、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技２回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

(1) 学校教育法第 72 条、115 条、124 条及び 134 条の学校に在籍し、府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

(2) 以下の条件を具備すること。

① 大会参加資格を認める条件

(ア) 近畿高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

(イ) 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢・修業年限ともに高等学校と一致していること。

(ウ) 各学校にあっては、府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、本大会へ出場条件が満たされていること。

(エ) 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失しておらず、運営が適切であること。

② 大会参加に際して守るべき条件

(ア) 近畿高等学校体育連盟種目別大会要項を遵守し、本大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。

(イ) 大会参加に際しては、責任ある教職員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

(ウ) 大会参加に要する経費については、応分の負担をすること。

８ 参 加 制 限

(1) 各種目の参加数は、各府県男女とも下記の通りとする。

学校対抗(団体戦) ８校	ダブルス ８組	シングルス ８名

ただし、同一校より個人種目への出場数は、シングルス４名・ダブルス４組以内とし、学校対抗の前年度優勝校は無条件に出場できる。また、シングルス・ダブルスの前年度同大会及び今年度近畿高等学校卓球選手権大会のランキング保持者は無条件に出場できる。学校対抗においては各府県の予選会の出場校数が８校以下の場合は出場校数に１を減じた出場数とする。

(さらに、開催地は別に学校対抗１校・シングルス２名・ダブルス２組の出場を認める)

(2) 外国人留学生の参加については、全国高等学校体育連盟卓球専門部規定第１条２[５]外国籍選手の大会参加制限による。

９ 参 加 申 込

(1) 申込方法

【参加校の顧問】

・京都府高体連卓球専門部のホームページ (https://www.kyoto-tt.net) より申込ファイルをダウンロードし、各項目に入力したものを下記の (2) AB の２カ所へデータで送信する。

・申込書を印刷・押印し、各府県で指定された期日までに各府県卓球専門部責任者に提出する。

【各府県専門部委員長】

・京都府高体連卓球専門部のホームページより出場校・参加選手一覧のファイルをダウンロードし各項目に入力したものを兵庫県高体連卓球専門部委員長および下記(2)Aまでデータで送信する。

・各校の参加申込書と一覧表を印刷して京都府高体連卓球専門部委員長まで送付する。

(2) 申込先

【データ送信先】

京都府高体連卓球専門部 (A) と各府県担当者 (B) の２カ所にデータを送信してください。

(A) 京都府高体連卓球専門部　　中谷　勝彦　nakatani44@kyoto-tt.net

(B) 各府県別送信先

大　阪	大阪高体連卓球専門部	小川 泰司	ogawataiji6210@gmail.com
兵　庫	兵庫県高体連卓球専門部	上石 修平	hhaf-ttn-info@hyogo-c.ed.jp
滋　賀	滋賀県高体連卓球専門部	松村 大介	st24250095@ms.pref-shiga.ed.jp
奈　良	奈良県高体連卓球専門部	南岡 誠人	makotom300@e-net.nara.jp
和歌山	和歌山県高体連卓球専門部	硯　智史	suzuri-t001@wakayama-c.ed.jp

【郵便物送付先】

〒 610 － 1146　京都府京都市西京区大原野西境谷町一丁目12－1･2

京都府立洛西高等学校　麻田祐一　宛（TEL 075-332-0555　FAX 075-332-0216）

(3) 申込期日

令和８年11月16日（月）必着

10 参　加　料

(1) 学校対抗 (団体戦)　　1 チーム　　25,000 円

(2) ダブルス　　1 組　　2,000 円

(3) シングルス　　1 名　　1,000 円

＊ 参加料は参加申込みと同時に各府県責任者に納入し、各府県で一括して振り込むこと。
（振込先については各府県委員長に別途連絡します。）

11 表　彰

(1) 学校対抗 (団体戦)　　第１位から第５位（ベスト８）まで表彰する。

(2) 個人戦 (ダブルス・シングルス)　　第１位から第５位（ベスト８）まで表彰する。

＊ 第１位から第８位までランキング証を授与する。

12 宿 泊・弁 当

(1) 申込については、別紙申込用紙に記入の上、各校で期日までに指定業者に申し込むこと。

(2) 選手・監督の弁当については指定業者が会場に届ける。

13 連 絡 事 項

(1) 競技中の疾病・障害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

(2) 参加選手・監督・役員は必ずマイナンバーカード（健康保険証利用登録が済んでいない場合は、保険証または資格確認書）を持参すること。

(3) 出場校の選手は必ず引率責任者（当該校の専任教職員または部活動指導員)が引率し、引率責任者は選手の行動に対し、全ての責任を負うものとする。

(4) 大会前日の会場練習の可否は京都府高体連卓球専門部のホームページにて告知する。

個人情報及び肖像権の取り扱いについて

1 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

(1) 大会プログラムに掲載されます。
(2) 競技会場内でアナウンス等により紹介することがあります。
(3) 競技会場内外の掲示板等に掲載することがあります。

2 競技結果（記録）等の取り扱い

(1) 競技会場内でアナウンス等により紹介することがあります。
(2) 競技会場内外の掲示板等に掲載することがあります。
(3) 本大会が認めた報道機関等により、新聞・雑誌・放送及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
(4) 高体連卓球専門部が作成する「大会報告書」に記載し、ランキング表や本専門部が発行する「年報」等の記録集に掲載します。
(5) 優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降の大会プログラムに掲載することがあります。

3 肖像権に関する取り扱い

(1) 本大会が認めた報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・大会報告書・記録集及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
(2) 本大会が認めた報道機関等が撮影した映像が、中継または録画放映されることがあります。
また、ＤＶＤ等に編集され、配布されることがあります。
(3) 本大会が認めた報道機関等から、事前に本人または監督に承諾を得て、個人またはチームに対し撮影や取材を受けることがあります。
(4) 本大会が認めた業者により、記念写真等が関係者に販売されることがあります。

4 高体連卓球専門部としての対応について

(1) 取得した個人情報を上記以外の目的に使用することはありません。
(2) 参加申込書の提出により、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応します。
ただし、生徒・保護者から学校長に対し、個人情報の公表に同意されない申し出がある場合はその意思を尊重して対応します。

外部指導者申請書

第 41 回近畿高等学校新人卓球大会委員長　様

学校名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校

指導者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

上記の者を本校の外部指導者とすることを許可しました。

令和 ８ 年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校

校長＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

スポーツ安全保険等加入証明書添付欄(コピー可)

申請者　顧問＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

(注) 外部指導者として登録すると自動的に当該校の監督になります。
個人戦のアドバイザーは大会申込み時にエントリーされた当該校の監督・選手に限ります。
監督でない顧問・引率責任者はアドバイザーになれません。

第 41 回近畿高等学校新人卓球大会
兼　第 54 回全国高等学校選抜卓球大会 近畿地区予選会

監督・選手変更届

(誤字等訂正を含む)

(注)個人種目の選手変更は出来ません。誤字等訂正のみとなります。

府県名		学校名	
引率責任者または監督氏名		印	

	変　更　1	変　更　2
変更区分 (〇で囲む)	[　男子・女子　] [　選手・監督　] [学校対抗・ダブルス・シングルス]	[　男子・女子　] [　選手・監督　] [学校対抗・ダブルス・シングルス]
変更前氏名		
変更後氏名	学年(　　)	学年(　　)
変更理由		

専門委員長　確認署名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

審　判　長　確認署名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿